

# 季刊 小林のぶゆき

第27号  
2018年5月発行号

見える  
わかる  
変わる



横須賀市議会議員(会派:研政) 小林伸行の議会活動報告

無所属42歳



横須賀を  
前へ

発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索  
住所 野比2-13-18 f t BLOG  
Fax 050-3737-3872  
移動事務所 ☎ 070-6640-3927  
✉ info@kobayashinobuyuki.com  
Web http://kobayashinobuyuki.com  
野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。  
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル  
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の  
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験  
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市  
長)公設秘書として修行し、2011年4月より  
横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも  
6年連続で受賞するなど政策派として活躍

特集

## あなたの使用人、 何人雇いますか？

報道採録 ～不正続く政務活動費～

全国紙に取材されました。

特集

## あなたの使用人、何人雇いますか？

横須賀市議会では現在、議員  
定数の削減について議論してい  
ます。現在は定数41人で各会派  
の主張は表の通りです。

議員の数なんて、どうでもいい!?

ただ、「議員が何人なんてあまり  
興味ない」という方も、きっと多い  
でしょう。一見、自分の暮らしには  
関係ないです。ね。

実際、何か相談したいことがあっても気心の知れた  
議員さえいれば他に何人いても関係ないですよね。  
それに、今年度の市の年間予算は3173億円(連結)  
ですが、そのうち議員41人分の報酬は約4.5億円で  
全体の0.14%です。つまり、「財政健全化の  
ために議員定数を減らせ!」と、議員を0人に  
したところで、大勢に影響はないわけです。

横須賀市は、上場企業クラスの大組織!

でも、逆に言えば、年間予算3173億円は、  
上場企業の年間売上高に匹敵します。そして、この  
みんなのおカネの使い途を決定するのは、実は議員  
です。市長じゃありません。

株主(市民)は、株主総会(選挙)で取締役(議員)を選  
んで、取締役会(議会)が決めた経営方針(基本計画)や  
予算に沿って社長(市長)に舵取りをさせます。だから、  
議会にどんな人を送り込むかは決定的に重要  
なんです。逆に言えば、無能な議員たちを  
選ぶと損するのはあなただということです。

|             |      |
|-------------|------|
| 自民党(11名)    | 4減   |
| 無所属みらい(8名*) | 4減   |
| 公明党(7名)     | 1減   |
| 研政(5名)      | 理由次第 |
| 市政同友会(5名)   | 4減   |
| 共産党(3名)     | 0減   |
| 藤野英明        | 4減   |
| 小室卓重        | 不明   |

\*人数は当時。その後、濱野雅浩・山本  
賢寿の両議員が無会派になり6名に。

結果が出せないなら……

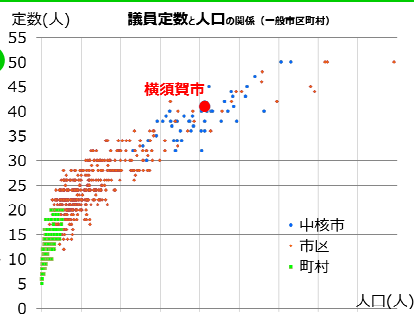
結局、「議員が多すぎ!」  
「報酬が高すぎ!」と言われ  
るのは成果を出せてない

からだと思います。議員報酬は年1089万円。市民  
一人あたり私は年26円頂いています。議員41人に  
年1,088円払っている計算です。「人口も減ってる。  
市への満足感も薄い。結果の出せない横須賀市議  
会を1,088円払って雇っておく価値があるのか?」

どうせ結果が出せないなら、議会は単なるチェック  
機関でいい。普通の市民目線でチェックするだけなら  
報酬は日当制でいい。\*1そして、逆に監視の目は多  
いほうがいいから、議員は倍の80人位いてもいい。

議会は市民の役に立てるか?

でも、みなさんは本当にそれでいいんでしょうか?  
議会の本来の仕事は市民の願いを束ねて鏡のように  
市の事業に反映すること。議会がまとまれば、中学校  
給食だって無茶なリストラ計画の撤回だって、何でも  
できるわけです。問題は、市民が満足できる結果が  
出てないこと。私が所属する研政が「理由次第」とし  
てきたのも、そこです。「横須賀市では議員の仕事は  
何なのか? チェックだけの消極的議会か? 市民の  
声を形にするプロ集団を目指すのか? それにはどん  
なレベルの人材が何人いればいいのか?」。削減数の  
前に、その話が筋だと思うのです。過去経過や他市  
比較のデータは、特設ページでも提供しています。\*2  
ぜひ雇い主のみなさんの声を議会にお寄せください!



↑横須賀市議会は、他のまちと比べても人口の割に議員が多すぎるわけではない。でも、そういう話でいいのか?

※イラスト提供 わんぱく www.wanpaku.com/

\*1: 福島県矢祭町では、1日あたり3万円の日当制を導入している。 \*2: 小林のぶゆきホームページ>議員報酬&定数→

小林のぶゆき 検索

地方議員の政策立案能力を高める目的で、2012年に導入された政務活動費。報酬とは別建てで、主に都道府県や大都市の議員に支給される「勉強費」ですが、最近目立つのは不正な使用ばかり。モラルのない議員たちにどう対処したらよいのでしょうか。

## 全国紙に 取材されました。

### 不正続く政務活動費

4月14日の朝日新聞に取材記事で取り上げて頂きました。政務活動費を使った「横須賀データマップ」のマニフェスト大賞での受賞や、72万円もの失敗をBlogで告白したことに、注目した記者の方が取材に来てくださったものです。

オンブズマンと先輩諸氏のおかげで今、横須賀市議会は全国有数のお金にきちんとした議会です。今後も緊張感を持って税金を使い、仕事でお返します。

## Yahoo!ニュースに 記事が載りました。

横須賀市と他のまちを比べるために調査した内容を、せっかくだから記事にしたところYahoo!ニュースに載りました。『あなたのまちの議員は多い？報酬は高い？～全国市区町村の議員定数&議員報酬ランキングを一挙公開』というタイトルです。Yahoo!ニュースは期間限定なので、同じ記事は「政治山」でご覧頂けます。→ <https://goo.gl/ogNYBm>

兵庫県の号泣県議や富山市議会の辞職ドミノなど政務活動費（政活費）は不祥事ばかりが目立っていますが、本来は地方議員が「仕事」をするためのお金です。横須賀市議の場合、年167万円、平均月額で約14万円。同規模の自治体と比べて潤沢な方です。政活費の使い道として最も多いのは、視察や研修です。ある社会課題について成果を出している市町村があれば、視察に行きます。現場に行くと話を聞くのは、本を読んだだけでは得ることが大きい。東京や大阪で開かれる議員向けの研修も交通費を含めれば、1回数万円はさらにかかります。調査研究にはIT機材も有用です。私は17万円で地理情報システム（GIS）というソフトウェア

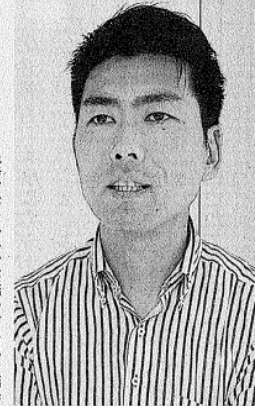
### 横須賀市議会議員

小林 伸行さん

政活費の不正行為が起きているのは地方議員のモラルの問題もありますが、チェックの甘さが議員の出来心を誘発する面もあります。逆に、横須賀市は議会事務局が領収書をつひとつと見て、疑問点があれば、すぐに議員に指摘する厳しさで有名です。

他方で議員定数を減らすことには私は賛成です。もっと少数精鋭

（聞き手・日浦統）



1975年生まれ。筑波大卒。地域情報誌社員、衆議院議員の公設秘書などを経て2011年4月から現職。現在 2 期目。

## 甘いチェック魔が差す議員

を買いました。地図上に様々な情報を重ね合わせるこのシステムを活用し、「横須賀データマップ」を作りました。市内の地域ごとの高齢者の絶対数と高齢者向けサービス拠点数を色分けした分布図は市民から「とても役立つ」と評価され、第8回マニフェスト大賞（政策提言賞）も受賞しました。無駄遣いだったかもしれないと思う例もあります。東京電力福島第一原発事故後、市民から放射能を測る機材が欲しいという声があり、測定器を購入しました。1機72万円、横須賀市の政活費の支出で過去最高額でした。知人のカフェに置いて測定したものの、次第に市民の関心が薄れ、使ったのは1年間だけでした。

重要なのは、使い道を透明にすることです。横須賀市では収支報告書だけでなく、全領収書を公開しています。いつ誰が見てもおかしくないようにしてはならない。徹底した公開だけでも不正は抑止できるはず。カラ出張や、領収書の改ざんは論外であり、まずは議員が自らを厳しく律するべきです。ただ、最近の「政活費はすべて悪」という論調には違和感があります。政活費は2012年の地方自治法の改正でそれまでの政務調査費の使い道を拡大し、その範囲は各自治体の判断に任せられました。「地方創生」の時代だからこそ、議会の政策立案機能は強化する必要があります。政策をつくるには勉強しなくてはならないし、スタッフも必要です。政活費を減らすのは、議員に仕事をしなくてよいということと同じことです。

不正支出が続いた政活費は最近の議員の「生活費」などと揶揄されています。地方議員は無報酬の兼業型でよいのでは、といった声もありますが、大切なのは「議員にどんな仕事をしたいか」です。普通の市民感覚で議決するだけではいらない。政活費も報酬も足りないなら、プロとして経営してほしい。一方、政治として経営してほしいなら調査や研究をさせたほうがいいと思います。

の議会があってもいいと思うからです。日本の大企業が取締役の数をどんどん減らしているのは、少ない方が機動的に物事を決められるからです。横須賀市の連結の予算額は約3千億円です。上場企業並みです。市議の定数は41人ですが、半減してよいと思います。そして議員を減らす代わりに政活費は年1千万円ぐらいに増やすのはどうでしょう。米国の連邦議会議員のように政策立案を担うスタッフを多く抱える方が、よい仕事ができると思います。

## 編集後記

最近のチラシを読み返しながら、「このところ、市長選の解説、民主主義のあり方、議会の役割など、具体的じゃない大きなことばかり書いているな」と気付きました。

もちろん「中学校給食」「施設リストラ」「学童保育料」など、個別の政策はもちろん大事ですし、取り組んできました。でも、スマホに例えると、「最近スマホが調子悪いのは、個別のアプリの不具合じゃなくて、土台となるOSが機能してないんじゃないか？」とも思うんです。

つまり、横須賀市の問題は政策のせいもあるけれど、市民の願いを市の政策に落としこむ回路が機能不全に陥っている気がするのです。というわけで、今回も地味ですが、議会をテコにして市民力でこのまちを動かしていけたらと思います。

2/24 開催の「市民の声を聴く会」は大盛況 ↑



## 応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

☎070-6640-3927 ✉info@kobayashinobuyuki.com Fax046-801-2177

### 小林のぶゆきの基本政策

#### 見える

誰が何をどう決めているのか  
ぜんぜん見えない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

#### わかる

難しい説明をされても  
よくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

#### 変わる

これまで何も変わらなかった。  
どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

